

平成29年7月9日  
今週のベストショット



青松園A 奈多サンデーズ 対 三苦三球会戦

四回表、長打が続く中、小技で相手のリズムを崩す奈多サンデーズ折居広則選手。

写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝

奈多グラウンド 祝レッドサンデーズ 古賀選手サイクルヒット達成

レッドサンデーズ (3勝3敗) 10299 21 古賀○、土師、塚本ー八島

新町パイレーツ (2勝5敗) 00132 6 田中●ー安田

HR: 古賀 (レッド) 岡山 (新町パ) 3BH: 古賀、木寺、田村 (レッド) 岡山 (新町パ)

2BH: 古賀、塚本、嶋村、八島 (レッド) 安田 (新町パ) 盗塁: 川原、古賀、塚本 (レッド)

一回表、レッドサンデーズ一番古賀選手がいきなりの三塁打。続く二番川原選手のヒットで1点を先制！  
一回裏、レッドサンデーズ先発古賀投手は安定した立ち上がりで0点に抑える。二回はパイレーツ先発の田中投手も粘りをみせてお互いに無得点。三回表、レッド先頭の古賀選手の二塁打。二死となるも四番八島選手の二塁打で2点追加。三回裏パイレーツは、四番安田選手の二塁打、続く本堂選手、田中選手の連打で1点を返す。その後パイレーツは田中投手を中心に粘りの守備をみせていたが、四、五回レッド打線が大爆発で9点ずつを挙げる。パイレーツ打線も岡山選手の3ランなどで粘りを見せるも、レッドの投手継投の前に6点を返すのが精一杯。21-6の大差でレッドサンデーズが勝利！

更にこの試合で、レッドの古賀選手が4打数4安打1四球でサイクルヒットの大記録を達成されました。

(写真・記事：奈多クラブ 木伏 陽一郎)



パイレーツ先発の田中新一投手。



レッドサンデーズ先発の古賀開投手。



二塁打を放つレッド監督兼選手の八島選手。



絶妙な送りバント パイレーツ白岩（勝）選手。



送りバント成功で、大野一塁コーチとタッチ。



パイレーツ四番安田選手。見事な二塁打！



レッド田村三塁手が好フィールディングをみせる。



パイレーツ岡山選手、右中間に見事な本塁打！



きわどいプレー。タッチセーフ。



レッド嶋村選手 右中間に見事な二塁打！



シャープな振りをみせるパイレーツ大野選手。



祝！大記録達成 サイクルヒットのレッド古賀開選手。

## 雁レクA まさか最終回に・・・。

三友クラブ (2勝4敗) 000004 4 平田○ー谷崎  
 奈多フェニックス (2勝3敗) 011100 3 松本●ー実延 (新)

HR：実延 (新)、能丸 (奈多フ) 2BH：中内、平田 (三友ク)

雲行きが怪しい雁レクAグラウンドは、両監督の爽やかな握手で試合開始となった。先攻の三友クラブは一番中内選手がいきなり右前安打で出塁、盗塁とパスボールで一死三塁とするも、後続が打ち取られ先制機を逸する。一方のフェニックスは、雨足が強くなった二回裏、五番実延 (新) 選手が豪快な本塁打を放った。先制したフェニックスは続く三回も三四球を利用して1点を追加すると、四回は九番能丸選手の本塁打で3点差とし、勝利を手元に引き寄せにかかる。対抗したい三友クラブだが、安打は初回の1本のみ。なかなか反撃の糸口が掴めない。しかし六回表、漸くチーム2本目の安打を松尾選手が放つとすかさず盗塁、柿崎選手が右前打で繋ぎ、内野ゴロの間に1点を返す事に成功する。だが既に二死。2点ビハインドで、時間も75分を過ぎ、グラウンドには間もなく試合が終了する諦めにも似た空気が漂う。しかしこの厳しい状況であっても三友ベンチは諦めない。九番足達選手が安打で繋ぐと一番中内選手が二塁打を放ち同点、続く平田選手も二塁打を放ち、怒涛の三連打で一気に試合をひっくり返した。この攻撃で勢いを得た三友クラブは、裏のフェニックスの攻撃を三者凡退に退け、鮮やかな勝利を収めた。終始優勢に試合を進めていたのはフェニックスだが、本塁打が2本ともソロであった事が最終回に響いた。一方、全6安打中5本を最終回に集めた三友クラブにとっては、格別にビールが旨い勝利だった。

(記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：橋村 明浩)



さわやかに試合開始。



三友クラブ先発の平田選手。



奈多フェニックス先発の松本投手。



二回裏、HRを放つフェニックス五番実延新伍選手。



四回裏、HRを放ったフェニックス九番能丸選手。



六回表、三友クラブ平田選手の逆転決勝二塁打！



勝利バッテリー、平田投手と谷崎捕手。

## 青松園B 好投手同士の戦い。勝利を手にしたのは？

雁ノ巣ライナーズ（3勝2敗） 0 0 0 0 0 0 0 0 有馬●ー明瀬（航）

三苦フレンズ（7勝） 1 1 0 0 1 0 × 3 山口○ー佐藤

盗塁：生野（拓）、山口、吉村（雄）（三苦フ）

早速初回到明暗が分かれた。一回表雁ノ巣ライナーズは、一番明瀬（旭）選手がバントヒットで出塁するも次打者が三振、ランナーも盗塁失敗でチャンス作りに失敗。その裏三苦フレンズは出塁したランナーを確実に送り三番生野（拓）選手がサードに強烈な打球を放ち幸先よく先制。またランナー二塁とチャンスを作ったが有馬投手が踏ん張り1点に抑える。巻き返しを図りたい雁の巣ライナーズではあったが、ここから三苦フレンズ山口投手の圧巻のピッチングが始まる。二・三回の打者を連続三振で抑えると、続く五回も三者三振に抑え、この試合15個の三振を奪う。雁ノ巣ライナーズ有馬投手も打たせて取る粘りのピッチングでこの試合3点に抑えるも味方打線の援護をもらえず試合が決まった。この試合、山口投手の奪三振が大きく印象を付けたが三苦フレンズの打線もチャンスメイクを行い、確実にモノにして勝利を手にしている。チームが一丸となって試合に臨んでいるように思えた。（記事：新町ウインズ 大久保 浩、写真：早田 主大）



ライナーズ練習前風景。



フレンズ練習前風景。



試合前挨拶。



一回表、チーム唯一の安打を放った明瀬 旭選手。



セーフティーバントを決めた吉村（雄）選手。



三振で悔しがるライナーズ明瀬 航選手。



二回表、センター前ヒットを放つフレンズ肥喜里選手。



1安打15奪三振と好投したフレンズ山口投手。

### 青松園A 歴代優勝回数14回を誇る豪打爆発！！

奈多サンデーズ（2勝3敗1分け）001830 12

古賀○ー野々下

三苦三球会（3勝3敗）023100 6

吉留、塚（達）●ー藤澤

HR：野々下（奈多サ）塚（達）（三球会）

2BH：田中2、宮口、守、野々下、川上（奈多サ）半田、渡邊（三球会）盗塁：塚（太）（三球会）

今期はここまで1勝の勝ち星の奈多サンデーズ対安定した勝ち星をあげてきている三球会の対戦で試合開始。試合開始5分前、奈多サンデーズの9人目の選手が登場し、あわや不戦敗を免れた。初回は両チームともそれぞれ1名の走者を出すが、得点にならず静かな出足。先制点は、三球会の二回裏、ベテラン塚和彦選手のセンター前ヒットからエラーとWPにて2点を先制、さらに三回裏にも3点を加え、5対1と序盤に勝ちムードにもっていく。そんな中、四回表のサンデーズの攻撃を迎えるも好投手吉留投手の前にここまで3安打のみ。しかしここからドラマが！六番守選手が、右中間に二塁打を放つと、続く田中監督兼選手、川上選手も同様に右中間二塁打を放ち、ベンチは一気に盛り上がる。続くベテラン折居選手はサード前に絶妙のバントにて好守の塚（達）選手の悪送球を誘い1点差へ！こうなると歴代チャンピオンの攻撃は止まらずエラーも絡み、打者一巡13人の攻撃で一挙8点を取り逆転！！次の回もサンデーズは3点追加し計12点。三球会は塚達也選手の意地の一発にて1点を加えるのみ。サンデーズの集中攻撃が実りゲームセット。試合開始まで8人しか揃わず、不戦勝も覚悟していたサンデーズナインだったが個々の能力は高く、大技小技を加え、後半は完全にサンデーズペースとなった。サンデーズ若手の古賀風太投手は我慢のピッチングを続けた結果、チーム一丸で勝利に結びつけた。上位陣に対して、ここから奈多サンデーズの強さを更に見せてほしい。（記事・写真：ブルーマーリンズ 末松 勝祝）



奈多サンデーズの初回の快音、二番宮口選手。



三球会の初回の快音、三番塚太一選手。



二回裏、三球会先制のホームイン場 和彦選手。



四回表、猛攻撃の口火を切るサンデーズ七番守選手の二塁打。



続くサンデーズ七番田中監督兼選手の二塁打。



続くサンデーズ八番川上選手の二塁打。



サンデーズ九番折居選手、絶妙のバント。



四回裏、意地の一発を放つ三球会二番の塚 達也選手。



五回表、HRで3安打猛打賞の野々下選手。



本日のヒーロー！！全員で勝ち取った勝利！

## 第12週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第12週、7月9日は4試合が行われました。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対和白新町パイレーツ戦は、ギリギリ9人のパイレーツに対し、レッド打線の猛打が爆発。中でも一番古賀選手は4打数4安打1HR1盗塁でサイクルヒット達成です。レッド投手陣は3人つぎ込み、ピリッとしらないものの、大量点をバックに21-5でレッドの勝利。レッドは6試合目にして5人が初ヒット達成。ここから波に乗れるか？

雁レクAの三友クラブ対奈多フェニックス戦は、ランナーは出すものの五回まで無得点の三友クラブに対し、フェニックスは二~四回までソロHR2本などで1点ずつ計3点を奪う。五回裏はランナー三塁まで進めるも得点を奪えなかったことが六回表の悲劇につながる。それまで三友クラブ打線を1安打完封していた松本投手が掴まり5安打4失点。結果、4-3でフェニックスは逆転負け。5月28日以来の久しぶりの試合とは言え、今年のフェニックスが乗り切れないのは終盤の締め方に要因がある気がする。

青松園Bの雁の巣ライナーズ対三苦フレンズ戦は、全勝のフレンズ山口投手に対しライナーズは、一回表先頭の明瀬 旭選手がバントヒットを放つも盗塁死となり初回を3人で攻撃を終了すると、七回まで15奪三振され、一人のランナーも出せず21人で試合を終了。一方フレンズは5安打ながら3本が得点に絡み0-3でフレンズが開幕から7連勝。山口投手の剛球と共に初回の盗塁を刺した佐藤（由）捕手の強肩も連勝の要因の一つだ。

青松園Aの奈多サンデーズ対三苦三球会戦は、ギリギリ9人の奈多サンデーズに対し、三球会は三回を終わった時点で1-5とリード。しかし四回表に7安打（4二塁打）を集中させ一挙に8点を奪ったサンデーズが五回表には三球会吉留投手にめっぽう強い四番野々下選手の3ランが飛び出し、12-6でサンデーズの勝利。

ふくおかの夏の風物詩、博多祇園山笠も追い山を終了し、いよいよ夏本番。

湿りがちだったバットと同時に梅雨明けが待ち遠しい人もいるはず。

朝から30度に迫る気温ですが、気持ちよく汗をかきましょう！